

～令和3年8月 データから見た業界の動き～

8月報告のポイント

売上は堅持されつつも先行き（景況感）に不安

諸資材・材料の確保に大きな課題

■ 概 況

8月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高+6ポイント（前年同月比+54）、収益状況▲10ポイント（前年同月比+40）、景況感▲12ポイント（前年同月比+36）となった。

先月に引き続き前年比ではすべての項目で回復傾向を示しているが、山梨県内においてもまん延防止等重点措置が発令されるなど全国的に感染者数が拡大し、その影響から先月比では売上高は-16、収益状況は-12、景況感-6と単月では景況の悪化となった。

業種別では、製造業は売上高▲10（前年同月比+60）、収益状況▲20（前年同月比+45）、景況感▲25（前年同月比+40）となった。水産加工品、洋菓子、生産用機械器具製造業では売り上げが回復傾向を維持、業務用機械器具製造業でも受注が増え景況感が好転しているとの報告がされ一方、諸材料費が値上がり傾向にあるほか、半導体の供給不足と先行きの見通しが立たないことから、先行きの不安が報告された。織物製品や宝石・貴金属の業界からは十分な営業活動ができず、例年より悪かった昨年度からさらに9割減の売上しか確保できなかったとのコメントもあった。

非製造業では、売上高+17（前年同月比+50）、収益状況▲3（前年同月比+37）、景況感▲3（前年同月比+33）となった。

8月上旬は来県客や買い物客の増加に期待がされたが、感染抑止のために行われた協力要請やまん延防止措置により商店街や各種小売店は売上が減少したとの報告が多い。反対に自動車中古部品や廃棄物、建設関連、介護関連の事業者からは順調な事業活動が行えているとの報告がされた。

本年4月以降、売上高のD.I値は全体ではプラスを堅持しているが、景況感マイナスのまま。天候不順により野菜類が高騰、9月以降は食品類をはじめ生活に欠かせないモノの値上げが相次ぎ消費者の財布のヒモはさらに固くなることが予想される。鉄鋼、木材、半導体など生産に必要な資材も値上がり傾向にあり、確保も難しく需要先企業の設備投資も様子見の状態が生まれている。新型コロナウイルス感染症の収束が景気回復の大きなきっかけになることは間違いなく、ワクチン接種の進展、治療薬の早期開発が切に望まれる。

中央会では厳しい経営環境の中において、限られた資源を効率的に活用するために必要な事業継続計画の策定支援にあらためて力を入れている。ご相談はお早めに。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>売上げが前年同月比112%となったが、一昨年同月比では70%程度に留まっております。新型コロナウイルス感染拡大前の水準には戻っていない。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>天候不順から冷菓の売上げは今一步だが、新店舗出店の効果から全体の売上げは好調で、前年同月比129%となった。</p>
<p>食料品 (酒類製造業)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により業界全体が不況であるが、政府の対応策が見えてこず憤りを感じている。事業活動が制限されているため今後も景況は低下すると考えている。家飲み需要も大事にしているが、大きな売上げの増加には繋がらない。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは約30%の減少となった。裏地部門やインテリア部門では注文が少なくとても厳しい状況。ネクタイ部門でも、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が多くの都県に発令されていることに加え、クールビズやテレワークが浸透していることから売上げが伸びない。一方、傘地部門では一部の組合員がECサイトでの取引に活路を見出そうと考えている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>売上げは前年同月比10%程度減少、収益も悪化している。新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、見通しが立たない。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>米国及び中国の住宅需要の高まりなどをきっかけに、世界的な木材不足が続いている。国内でも輸入材に加え内地材も不足、価格の高騰が止まらない。木材が十分に流通する目処が立たず不安を抱えている。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>新型コロナウイルスの感染が一層広がりまん延防止等重点措置が発令されたことから、思うように営業活動ができず売上げが減少した。</p>
<p>窯業・土石 (砂利)</p>	<p>公共工事の繁忙期をこれから迎えることから、需要増を期待している。</p>

窯業・土石 (山砕石)	工事量の減少により資材の販売量が落ち込んでいる。前年同月に比べ売り上げ、収益ともに減少した。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	前年同月と比べると売り上げは回復してきたが、今後は半導体の供給不足により需要先に対する納期に影響が出てくると考えている。
一般機器 (業務用機械器具製造業)	受注が増え景況感が好転している一方、材料価格が高騰し収益を圧迫しているため状況は厳しい。
一般機器 (生産用機械器具製造業)	前年同月と比べ売り上げは135%、収益は125%の増加となったが、昨年の売り上げ等が非常に悪かったためであり状況は良くない。今後も厳しい状況が続くと考えている。
電気機器 (電気機械部品加工業)	仕事量が減少していることから受注競争が激化し、商品価格が低下している。昨年同月と比べ収益が▲10%となった。
電気機器 (電気機械部品加工業)	半導体製造関連の受注は変わらず順調だが、新規の受注は価格をかなり下げなければ受注に至らない。受注するまでに時間がかかると納期が短くなってしまい、対応できずにキャンセルとなることもある。
宝飾 (貴金属)	新型コロナウイルスの影響により、取引先である商社が出張に出られないことに加え小売店への来客数も減少し、売り上げ、収益ともに前年同月比90%程減少した。組合員は職人であるため販売に出ることができず、経済活動が再開されることを待つみの状況である。

● 非製造業

卸売 (自動車中古部品)	素材の買取価格は過去10年で最高値となるなど高値で推移しているが、廃車の生産量は変わらず減少傾向にある。各メーカーでは半導体不足による自動車の減産による納期の遅れから乗り換え需要がストップし、廃車が減少している。
卸売 (ジュエリー)	各地に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、展示会の中止や縮小を余儀なくされている。来店者数も減少するなど、回復基調にあった業況が反転した。

<p>小 売 (青 果)</p>	<p>8月前半の高気温、後半の長雨などにより、一部の青果は入荷量が減少。ニンジンやジャガイモなどが高値となり収益を圧迫し、収益は前年同月比▲20%となった。</p>
<p>小 売 (食 肉)</p>	<p>お盆は県外からの宿泊客が多く売り上げが増加していたが、山梨県新型コロナウイルス感染拡大防止への協力要請及びまん延防止等重点措置が適用されるなど、盆休み明け以降は各種飲食店の多くが休業し売り上げが伸び悩んだ。</p>
<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年同月と比べ売り上げが40%ほど減少した。前年同月は猛暑によりエアコン需要が拡大したことや新型コロナウイルス関連の補助金等により空気清浄機等の売り上げが伸びていたことから、通常の実績に戻ったと言える。</p>
<p>小 売 (事務機小売業)</p>	<p>アクリルのパーテーションやアルコールなどの新型コロナウイルス感染予防対策関連商品による売り上げの増加と、全体的な買い控えによる売り上げの減少が均衡している。今後の動向は楽観視できない。</p>
<p>小 売 (ガソリン)</p>	<p>近県の緊急事態宣言や山梨県のまん延防止等重点措置の影響により売り上げは前年同月比▲20%程となった。また、天候不順の影響から洗車収益も前年同月と比べ半減した。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>新型コロナウイルスの影響は大きく、収益は前年同月よりさらに悪化した。一昨年の同月と売り上げを比べると約30%減、駐車場の売り上げは64%減となり大変苦しい状況である。この状況が続けば小売店、さらには商店街の継続が厳しい状況となる。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>首都圏の緊急事態宣言の延長に加え、山梨県へのまん延防止等重点措置の発令が重なり、さらなる顧客の減少を招いた。長引く緊急事態宣言下では、観光客やビジネス客の回復が図れない。</p>
<p>産業廃棄物処理</p>	<p>事業は順調に推移している一方、一部の会員において高齢の従業員の退職に伴い新規従業員を募集しているが、人員の確保に苦しんでいる。</p>
<p>一般廃棄物処理</p>	<p>事業系一般廃棄物処理の契約更新の際の値上げ交渉の成果により、売り上げ、収益ともに増加したが、業界の景況に変化はない。</p>

警 備 業	まん延防止等重点措置により県内の夏期イベントのほとんどが急遽中止され売り上げが減少した反面、土木・建築工事が増加し受注価格もわずかながら上昇したことから、全体的な売り上げは増加した。しかし、8月中旬の天候不順による工事の延期から、複数の工事現場と予定が重複し人員不足が発生、新たな受注に対応できない事態となった。
建 設 業 (総 合)	公共工事は前年同月と比べ件数は8%増加、請負金額では4%増加している。8月末累計では件数は1.4%、請負金額は16%のそれぞれ増加となった。
建 設 業 (型 枠)	公共、民間ともに工事量が増えている。特に民間工事については、コロナワクチンの接種が進みアフターコロナを見据えた設備投資が増えたことが理由だと考えている。
建 設 業 (鉄 構)	鋼材価格の高騰が続いており、天井が見えない状況。受注価格に反映できず、前年同月と比べ収益が悪化した。
設 備 工 事 (電 気 工 事)	長引くコロナ禍により業界の仕事の進め方が様変わりしている。時代の風潮に遅滞することのないよう積極的に新しいものを取り入れていく必要があると考えている。DXを実現するにあたり、モバイル端末などのIT装備が必須になることを踏まえ、今後の対応を考えていく。
設 備 工 事 (管 設 備)	公共・民間ともに工事量の回復が見られる。一方、懸念していた継手などの配管資材の高騰が現実化しており、今後の事業活動への影響を心配している。
運 輸 (タ ク シ ー)	新型コロナウイルスの影響による外出の自粛要請、テレワーク、飲食店等の営業時間の短縮、観光・出張等の激減などから人の動きが止まっている。9月以降の景況はさらに落ち込むと考えている。
その他 (介 護)	事業所の知名度や信用性が向上したことで新規取引の依頼が増えているが、人手不足により受け入れができない状況。雇用者数が増加することによりさらなる売り上げの増加が見込めるが、求人に応募がない。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2020/8	2021/7	2021/8	2020/8	2021/7	2021/8	2020/8	2021/7	2021/8
売 上 高	-70	15	-10	-33	27	17	-48	22	6
収 益 状 況	-65	-15	-20	-40	13	-3	-50	2	-10
景 況 感	-65	-5	-25	-37	-7	-3	-48	-6	-12

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D. I 値

